

## 中古の仏壇や墓は 呪われますか？



●Answer

さん におういん きゅうようじ ぜんじゅうしよく  
沖縄市・コザ山 仁王院 球陽寺 前住職  
帰依 龍照 (きえ りゅうしょう)

**Q** 友達から中古の仏壇をもらいました。ついでに中古の墓も買わないかといわれています。親戚はみんな「沖縄では聞いたことがない、一族が呪われる！」と怒っています。沖縄の墓に中古物件はないのですか？

(久米島町・Hさん・40代男性)

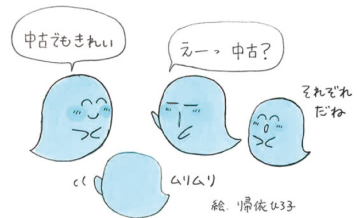
**A** Hさん、お仏壇やお墓のか斬新な表現ですね。沖縄でお仏壇やお墓を譲り受けることについて、親戚の中で賛否両論があるのは、タチーマジクイ(他家(家)混合)になる可能性を気にされていることでしょう。これは、沖縄のしきたりをご存じであれば、至極、当然のことだと思います。

### タチーマジクイと解決方法

沖縄では、ヤーシジ(家の血筋)・チーシジ(人の血筋)という、自分の家系や苗字を大切にしている伝統的な考え方があります。他人の家系や苗字が複雑に混ざり合うことをタチーマジクイといい、これを未然に防ぐため、意味もなく他人の家系や苗字の方を自分のお仏壇やお墓にウンチケー(案内)しないというしきたりがあります。

今回、Hさんとお友達で合意に至ったお仏壇の件と、これから進めようとしてお墓の件は、このタチーマジクイに該当すると、親戚みなさんが心配されているのでしょうか。

今からでも遅くないです。まず親戚の目上の方々にご指導を仰ぐことが賢明かと思



います。お友達との人間関係や金銭的な理由があるのでしたら、このあたり

の事情をご説明して、納得いただいた後でしたら、お話しもスムーズに進むのではないのでしょうか。

親戚みなさんの承諾がいただけたら、然るべき、ご寺院のご住職様や親しいユタウサギヤの先生にご依頼して、お友達ともども、お仏壇やお墓の遷座法要(せんざほうよう)・一般的には、お性根抜き)をお勧めしていただき、引き続き、入仏法要(にゅうぶつほうよう)・一般的には、お性根入れ)や建碑法要(けんぴほうよう)などをお勧めいたします。

これらのお勧めは、本来の意味とは少し異なりますが、わかりやすく表現しますと、お仏壇やお墓をお友達からHさんへ名義変更するための手続きといったイメージでしょうね。

大切な仏事として行うことにより、仏様を敬うことはもちろん、なにより親戚みなさんにご安心されることでしょう。しかし、親戚みなさんの承諾がないときは、譲り受けることを遠慮された方が賢明かと思えます。あえて親戚間でわかまわりを残すより、新しいお仏壇やお墓を購入される方が、わずかながらでも、Hさんのご心労が減るのではないのでしょうか。

## 追悼

### 『琉球・沖縄の民間信仰』の巨星を偲ぶ

11月下旬、渡口初美先生(琉球料理研究家)が急逝されました。最後にお会いしたのは、計報の1カ月前のこと。初美先生のお店である、老舗『琉球家庭料理まんがん』へお邪魔させていただいたことを思い出します。

多方面にわたり、博識であった初美先生の専門分野のうち、私は宗教哲学や琉球・沖縄の民間信仰についてご相談にのっていただいたり、ご教示いただきました。心を支えとしていました。初美先生の優しいお言葉は、なにより私の心の中に深く染みわたるものでした。

今でも耳の奥に残る初美先生のお言葉はたくさんあり、中でも、沖縄のウクワンクトゥバ(御願言葉)のうち、「サリ ウー トートウ」の「サリ」とは、「目上の方に、ハハア、と両手を丁寧に下げつつ、敬意の心でひれ伏す、心からの敬いの言葉なのですよ」とのアドバイスは、目からうろこが落ちるようであったことを思い出します。

「サリ」という言葉を初めて耳にしたとき、県外出身の私は「魔法使いのサリーちゃん」かと思いました」とお話しさせていただきました。初美先生のツボだったのでしょうか、涙が出るほど笑っていただいたことを思い出します。

その後、初美先生がおっしゃられましたことは、とても大切な内容でした。「今の時代、たく

さんの人たちが沖縄のしきたりの大切な意味を忘れかけていますね。例えば、本当は、ウー トゥなのですが、ウー トートーと、最後をトーと伸ばす人たちが増えていきますね。これは、トーではなく、トゥ、なのです。このことは、あなたたちが頑張つて、沖縄の人たちに伝えてください」と、ごめんなさい、初美先生、私も沖縄に来てしばらくは、ウー トートーだと思っていました。本当は、ウー トートーです。今、思い出しても、初美先生のありがたなお言葉は、私自身のクガニクトゥバ(黄金言葉)です。

末筆に、私の琉歌の恩師がお詠みになられました敬意を、謹んで初美先生に手向けさせていただきます。と思います。

「いたしかたねさみ 命(ぬち) さだみやりば やしやしといもり 浄土(じょうど)ぬ国(くるん)」

訳：命の定めはどうすることもできませんが、せめて心安らかなグソー極楽の成仏でありますように(本歌は、浄土ぬ国(くるん)↓黄泉(よみ)ぬ坂(ひら))。

初美先生、私たちにありがたなお言葉をたくさん賜り、本当にありがたうございました。

「サリ ウー トートウ 渡口初美シンシ トー タビ シミ ソーリヨー サイ」。